

自分の心に金賞を

聴く人の心を揺さぶる歌声でした

10月28日(土)の合唱祭は、生徒の緊張と熱意が伝わる雰囲気の中、最高の歌声を披露しました。北区文化会館のホール全体が感動に包まれました。

審査委員の太田女美先生からは、「どの学年も素晴らしい合唱でした。みなさん

一人一人が自分の心に金賞を掲げてください。」とお褒めの言葉をいただきました。「互いのパートの声をよく聞いて、掛け合いで歌うところを大切にしてほしい、声をホールの後ろまで届くように歌ってほしい」などのご指導もいただきました。来年の合唱に生かすことで、さらに合唱のレベルが上がっていくと思います。生徒の感想から合唱祭を振り返ります。

1年1組

どのクラスも一人一人が素敵な声を出していて、これこそ「虹」のような合唱祭になりました。先輩方の合唱はやはりレベルが違いました。来年はそのような素敵な先輩方のすごさを自分たちもできるようにがんばりたいです。

1年2組

パートリーダーや実行委員がみんなをまとめたりしていていいと思った。自主的にみんながやっていてよかった。本番が近づくとつれて、みんなが全力で練習した。ピッタリそろった時はみんなで喜んで、みんなで高め合っていてすごくいいと思った。

2年1組

ライバルで助け合う仲間と一緒に歌った2組が、びっくりするほど陰で練習していたんだなと感じる合唱をしてうれしかった。このクラスに負けるならいいなと思えるものを見せてもらって楽しかった。3年生はとても評価がつけられない合唱だと思った。1年生は、自分たちに火をつけてくれる素晴らしい合唱で、楽しそうだった。

2年2組

1年生は、声の大きさより質の高い歌い方だと思いました。特に1年1組の「まーっすぐー」のところがとてもよかった。3年生の3年1組の「手紙」は、追いかけるところが上手でした。でも、どの組もいっぱい練習したので、勝ち負けよりもいいところを見つけたいです。

3年1組

全学年の団結力がとてもすごい。たとえ自分たちのライバルだとしても、互いに喜び合い、祝福し合っている姿がよかった。

3年2組

日々の練習や交流会などで、他の学年やクラスの歌を聞いて刺激し合うことができ、学校全体で創り上げた合唱祭だと思う。卒業式の合唱は、さらにいいものを創り上げていきたい。



濁川中だより

令和5年
11月30日
第8号

濁川中学校
ホームページ



<https://blog.city-niigata.ed.jp/nigorikawa/>

学校だよりや日々の学校生活を載せています。ぜひご覧ください。

スマイルアクションIIは、「合唱へ向けて」。各学年で取り組みました。

1年生は、目標、団結、認め合い、役割の力が高かったので、合唱の取組の様子をスライドショーにまとめました。一人一人の笑顔の写真に、仲間の良いところもコメントとして加えました。2年生は、合唱練習に注目。1組は、遅れてきた人に「来てくれてありがとう」とパート全員で言う。2組は、練習に遅れてきた人がいたパートは、放課後清掃5分、としました。3年生は、形に残るアクションにしたいという意見が多く、合唱練習後に振り返りと目標を毎日書いて掲示しました。10色の紙に書き、10色の虹が完成しました。



君たち一人一人が濁川の未来です

ウエルカム参観日 学びの成果を披露しました

新崎自治会長様から講評をいただいた時の言葉です。4月から教職員が一つになって学習を計画してきました。生徒は、「小さな子どものために活動する」「企業側から考える」「地域のために行動する」といったこれまでにない活動を行い、多くのことを考え、学びを深めてきました。その姿をこのように評価していただけたことは、本当にうれしく、感激でした。生徒のレポートで振り返ります。



〈1-1〉 児童が本気で驚いて頭をぶつけないように、ちょっとだけ優しくおどかしました。

〈1-1〉 中学生になるまでは、先生が目的を考えてそれをみんなで達成する、だったけれど、中学では自分たちで目的を考え自分たちで達成するということを学びました。このことは将来でも活かせると思いました。

〈1-2〉 児童が心から楽しめるようにしっかりと声のかけ方や話し方を考えながらやった。今回の活動で、人との会話が大切だと分かった。次はもっと大きいイベントをしてみたいと思った。

〈1-2〉 幼児には、目線を合わせて話してあげたり、優しく接したりするのが大切だと思いました。来てくれた人に「なるほど」「家でもできそう」と言ってもらえてうれしかったです。

〈2-1〉 仲間の発表を聞いて、職場体験で学んだことを自分の起業活動にしっかりとつなげていて現実味があって聞きやすかったです。年齢層や費用を細かく出しているといいと思いました。

〈2-1〉 自分たちの提案でよかったところは、大きな声でみんなに聞こえやすく発表したことです。iPad だけを見るのではなく、前を向くようにして発表しました。

〈2-2〉 新崎甚句のような伝統芸能では、中学生に踊りを教えてくれる機会があることがすごく大切だと思いました。1年生は小学生が楽しめるような企画をたくさん考えて実現していたのでとてもよかったです。

〈2-2〉 3年生は、地域の人に話を聞いていて問題がすごく具体的でした。考えるだけでなく、実際に体験していろいろ作ってすごいと思ったし、トンボ池など身近なところを大切にしていきたいと思いました。

〈3-1〉 2年生は、様々な企業の体験をもとに地域の問題について考え、交通のアクセスや地域の特色を生かして起業していたことに感心した。声のスピードが聞き取りやすく、画像もわかりやすくイメージしやすかった。

〈3-1〉 1年生のトマトについての発表は、みんなで協力して発表できていたのでよかった。質問に対する答えがしっかりしていて、それぞれがしっかり学んできたんだなと思った。

〈3-2〉 仲間の提案について、1つ1つ丁寧に考えられていて、どれもおもしろかった。自分たちが考えたものとはまた違った課題や魅力があった。どの提案も少子高齢化が関係しており、濁川の共通の大きな課題であると言える。どれも他人事としてとらえず、自分が住む町として大切に考えていきたい。

〈3-2〉 2年生は、濁川だけで楽しめるように、地元の人を大切にする取組がいいと思った。小さな子どもから大人までといった幅広い世代のことを考えていてとてもよかった。私自身も中学生の力を生かしてボランティアや、地域貢献ができたらいいと思った。

地域の方より

- ・ 体育館で小さな子どもたちが説明を受けながらスライム作りをしていました。きっとこんなカッコいい素敵な中学生になりたいと思ったに違いありません。楽しそうでした。
- ・ プレゼン能力を感じました。中学生が地域の課題について考えるだけでなく、事前研修や体験を通して学び、当日の活動に加えてみんな笑顔で達成感を味わえる機会でした。とても素晴らしいと思います。
- ・ 小学生の姿も多く見られ、普段なかなか会う機会のない中学生と交流できるのでいいなと思いました。事前に小学校を訪問してチラシを配り、呼びかけたのもとてもよかったと思います。

立派なテントをありがとうございました

大切に使用させていただきます

濁川自治振興会様よりいただきました。簡単に組み立てられる使いやすいものです。学校の「テントが足りず、困っています」という声に素早く反応していただきました。感謝申し上げます。

